

立命館大学交響楽団



第2回 オペラ公演

La Bohème

ラ・ボエーム

G. プッチーニ

全4幕 / イタリア語上演 / 日本語字幕付

指揮 阪 哲朗

演出 唐谷裕子

高槻城公園芸術文化劇場

南館トリシマホール

2026年9月6日(日)

開場 13:00 / 開演 14:00

チケット / 一般 6,000 円 友の会 / 5,000 円 学生 4,000 円
(高校生以下対象)

チケットはこちら



お問合せ / ritsusoinfo@gmail.com ritsusopr@gmail.com (広報)

後援 / 大阪府 高槻市 公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団 立命館大学校友会

指揮 阪 哲朗



京都市出身。京都市立芸術大学作曲専修にて廣瀬量平氏らに師事。卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科にてK. エステルライヒャー、L. ハーガー、湯浅勇治の各氏に師事。欧米での客演が数多く、ドイツはもとより、ヨーロッパ各地の歌劇場における過去 25 年間に指揮した舞台作品数は約 70 演目、通算公演回数は 1000 回以上にのぼる。日本ではNHK交響楽団をはじめ各地の主要オーケストラ、新国立劇場、二期会などのオペラ団体を指揮している。また、山形大学での公開講座や、国立音楽大学、東京藝術大学より招かれるなど後進の指導にも力を注いでいる。これまでに、ビール市立歌劇場専属指揮者、ブランデンブルグ歌劇場専属第一指揮者、ベルリン・コーミッシェ・オーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場音楽総監督、山形交響楽団首席客演指揮者、レーゲンスブルク歌劇場音楽総監督を歴任。2019 年より山形交響楽団の常任指揮者、2023 年度 4 月よりびわ湖ホール芸術監督、および京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻の教授を務める。2025 年 3 月、令和 6 年度（第 75 回）芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。立命館大学交響楽団とは 2004 年創立 50 周年定期演奏会で客演指揮者として招聘以来、20 年以上の緊密な関係を築いている。定期演奏会、地方演奏会、東京公演をはじめ数多く共演し、2025 年 12 月には、創立 70 周年記念公演にて G. マーラー交響曲第 2 番《復活》で成功を収めている。

演出 唐谷裕子



大阪音楽大学音楽学部声楽専攻卒業。同音楽専攻科声楽専攻〔演出〕第一期生を修了。声楽を林誠・今井しづか、演出を中村敬一・岩田達宗・(故) 芦田鉄雄・花田英夫各氏に師事。大学在学中から活動を始め、演出助手として多数のオペラ団体や劇場にて 130 公演以上の舞台に関わる。2000 年「アマルと夜の訪問者(堺シティオペラ)」にて演出デビュー。2025 年 音楽クリティック・クラブ賞 奨励賞を受賞。立命館大学交響楽団第 1 回オペラ公演「ヘンゼルとグレーテル」に続いての演出となる。京都市立芸術大学・大阪音楽大学・昭和音楽大学非常勤講師/同志社女子大学嘱託講師/神戸音楽家協会会員(演出)日本舞踊山村流の名取

副指揮/森田龍舞、森脇涼、中橋健太郎左衛門、河井朝飛
舞台監督/青木一雄
合唱指揮/森脇涼
コレペティトゥア/掛川歩美
合唱/立命館大学交響楽団第 2 回オペラ公演特別合唱団(びわ湖ホール声楽アンサンブル、神戸市混声合唱団、京都市立芸術大学 ほか)
児童合唱/大津児童合唱団

キャスト



ミミ
和田悠花



ロドルフォ
水口健次



ムゼッタ
山岸裕梨



マルチェッロ
迎 肇聡



ショナール
市川敏雅



コッリーネ
松森 治



ピノア、アルチンドロ
林 隆史



パルビニョール
島影聖人

【おねがい】

- ・未就学児のご入場はご遠慮ください。
- ・感染症が疑われる方は、ご入場をご遠慮ください。
- ・本公演は開場後の混雑が予想されます。また開演後にご到着された場合、長時間客席へのご案内ができません。あらかじめお時間に余裕をもってお越しください。
- ・体調に不安がある等個人的な理由によってご入場をお控えいただく場合のチケット代の払い戻しは行いません。あらかじめご了承ください。
- ・会場内での写真・動画撮影および録音は固くお断りさせていただきます。撮影機器のお持ち込みもご遠慮ください。
- ・客席での飲食はご遠慮ください。
- ・会場内への酒類、危険物のお持ち込みはできません。
- ・会場内は全面禁煙です。
- ・生花は大きさを問わず客席へのお持ち込みをお断りさせていただきます。あらかじめロビー内贈り物ブースにてお預けください。
- ・客席では携帯電話等、演奏会の妨げとなる機器の電源はお切りください。
- ・演奏中は客席へのご入場をお断りしております。また開演後に入場されたお客様は係員の指示に従っていただく必要がございます。

本演奏会

ラ・ボエーム—青春の音
全国の学生オーケストラの中でも極めて稀な「オペラ自主公演」。前回(2021 年「ヘンゼルとグレーテル」)の挑戦からさらなる高みを目指し、2 度目の舞台として私たちが選んだのはブッチーニの傑作『ラ・ボエーム』です。本作は、ありのままの人間模様を劇的に描く「ヴェリズモ(現実主義)・オペラ」の王道であり、今を生きる私たちにとって最も身近に響く物語でもあります。舞台は 19 世紀、パリの屋根裏部屋。夢を追う詩人、画家、哲学者、音楽家の 4 人は、まさに総合大学で多様な学問に励む私たちの姿そのものです。法学、経済学、映像学、理工学をはじめとする様々な専門を持つ団員が集い、限られた課外活動の時間の中で切磋琢磨する日々は、劇中の若者たちが知性や感性をぶつけ合った熱気さながらです。日々の学生生活を送りながら、一つの音楽に向かって手を取り合う。私たちの等身大な感性が、ヴェリズモ・オペラが描く人間ドラマに、より身近でリアルな説得力を与えます。本公演は、指揮に阪哲朗氏、副指揮に中橋健太郎左衛門氏をはじめとする強力な指揮者陣を迎え、現役団員のみならず OB・OG の多大なる協力を得て、楽団が一丸となって取り組む一大事業です。今この瞬間にしか鳴らせない、切なくも輝かしい青春の音を、ぜひ劇場でお聴きください。

立命館大学交響楽団



立命館大学交響楽団は 1955 年に創立され、2025 年に創立 70 周年を迎えた。当団 OB 名誉会長の故伊吹新一氏をはじめとする、わずか数名の有志によって結成されたオーケストラであったが、現在約 150 名の団員を擁するまでに発展した。「国内最高水準の学生オーケストラ」「地域に根ざした学生オーケストラ」という二つの理念を掲げ、主に京都・大阪・滋賀の 3 都市で演奏会を行っている。当団は創設当時より、年 2 回春季と冬季に定期演奏会を開催しており、公演回数はすでに 130 回を超えている。2004 年の第 92 回定期演奏会では、ドイツを拠点として活動する阪哲朗氏を招聘、2006 年より当団オーケストラアドバイザーに迎えた。2021 年には第 1 回オペラ公演を、2025 年 12 月には創立 70 周年記念公演として G. マーラー交響曲第 2 番《復活》を盛況のうちに終演。

【アクセス】

阪急高槻市駅から徒歩約 8 分 JR 高槻駅から徒歩約 13 分



X
@ruso_box410



Instagram
@ritsuso_official



Facebook



Youtube



公式キャラクター
エモンさん